

施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 17

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	Ⅲ 健やか安心都市
施策名	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実

所管部局	所管部局長の氏名
健康長寿福祉部	中村 悦雄

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
第5期京丹後市高齢者保健福祉計画	社会情勢の変化や今後の高齢化への対策をより一層推進するため、市が目指すべき高齢者保健福祉の基本的な政策目標を定め、具体的に取り組むべき施策を明らかにすることを目的として策定 ※ 老人福祉法第20条の8に規定する計画で、市町村老人福祉計画として策定。また、介護保険法第117条の規定に基づき策定される介護保険事業計画と一体的に策定	平成24年3月	平成24年度～ 平成26年度	

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	健康長寿社会を実現するため、	高齢者の方が長年にわたって培ってきた知識や経験を、産業振興、生涯学習、地域活動などの様々な活動に生かせるよう、生きがい活動、社会活動の推進や社会参加を支える環境整備、また介護予防などを推進することによって	健康でいきいきとして自立した生活を送り、地域の中で活動を続けていくことができるようにする。	1 生きがい活動・社会活動の推進 2 生活支援・在宅福祉対策の推進 3 社会参加を支える環境整備 4 介護予防の推進 6 「健康大長寿」のまちづくり
2	誰もが住み慣れた地域で暮らしたいと思っていることから	地域包括支援センターを中心として、保健・医療・福祉・住宅などの関係機関や地域の団体などが連携することによって	要介護状態になっても、地域で生活し続けられるための支援体制を構築する。	2 生活支援・在宅福祉対策の推進 3 社会参加を支える環境整備 4 介護予防の推進 5 介護保険制度の充実
3	高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加が予測される中、また、高齢者虐待など、高齢者の権利擁護の取組が求められていることから	虐待防止施策、認知症の啓発事業などの住民の理解を深める事業、医療や介護などが連携しながら認知症ケアの充実を図る事業などを行い	高齢者の個人としての尊厳を保持し、高齢者の権利擁護を積極的に図るための仕組みや支援を充実する。	2 生活支援・在宅福祉対策の推進 4 介護予防の推進 6 「健康大長寿」のまちづくり
4	高齢社会では、寝たきりや認知症などによって介護が必要となる可能性が高まり、介護の問題は誰にでも起こり得る問題であるため	介護施設整備や介護サービスの充実を図り、高齢者が選択できるサービスの量と質の向上に努めることによって	持続可能な介護保険制度を構築する。	1 生きがい活動・社会活動の推進 2 生活支援・在宅福祉対策の推進 4 介護予防の推進 5 介護保険制度の充実

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		直近年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
総合計画	介護予防を進めるため地域支援事業を実施します	特定高齢者(二次予防事業対象者)施策対象者(65歳以上人口に対する割合)	0%	H16	3.2%	H20	23.4%	H24	6.2%	H26
	住み慣れた地域での介護サービスを確保します	介護保険地域密着型サービス事業所数	0か所	H16	15か所	H20	20か所	H24	20か所	H26
	認知症に関する理解を深めるためサポーターを増やします	認知症サポーターの数	新規	-	1,733人	H20	5,837人	H24	4,000人	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値 (現状)		目標	
					年度	年度	年度	年度
なし								

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果			
			H24決算額	H25予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性
1 生きがい活動・社会活動の推進	1 敬老祝い事業	長寿福祉課	28,023	27,516(14,516)	市規定	単費	○	サービス	団体	補	2	特定サービス	1	A	縮小
	地区主催の敬老会へ補助金交付(参加率41.6%)、喜寿・米寿・100歳以上の方へ記念品贈呈														
	2 老人クラブ活性化支援事業	長寿福祉課	8,597	8,651(4,120)	国規定	府・一部	-	サービス	団体	補	2	特定サービス	1	A	現状維持
	老人クラブの活動に対して補助金を交付(97クラブ、2,785人)														
	3 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業	長寿福祉課	9,112	8,560(5,079)	市規定	単費	○	維持管理	市民	委	1	該当なし	1	B	統合(整理)
網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営(入浴利用17,865人、研修室等利用件数71件)															
2 生活支援・在宅福祉対策の推進	4 指定管理施設運営事業	長寿福祉課	10,818	11,251(11,251)	市規定	単費	○	維持管理	市民	指	4	民間補完福祉増進	1,4	A	現状維持
	高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の運営管理(5施設)														
	5 シルバー人材センター運営助成事業	長寿福祉課	23,743	23,600(23,600)	国規定	単費	○	サービス	事業者	補	2	特定サービス	1	A	現状維持
	シルバー人材センター事業を助成(会員数797人、受注件数5,327件)														
	1 老人保護措置事業	長寿福祉課	154,406	155,867(123,102)	国規定	単費	○	サービス	市民	扶	5	生活支援安全網	2,3	A	現状維持
	在宅での生活が困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置(24年度末入所者数:71人)														
	2 軽度生活援助事業	長寿福祉課	336	42(42)	市規定	単費	○	サービス	市民	委	5	生活支援安全網	1,3	B	現状維持
	一人暮らしの高齢者宅へ買出しや洗濯、清掃等日常生活上の援助を行う者を派遣(利用12人・415日)														
	3 生活管理指導事業	長寿福祉課	133	263(263)	市規定	単費	○	サービス	市民	委	5	生活支援安全網	1,3	A	現状維持
	社会生活の適応困難な高齢者に対し養護老人ホームの短期間宿泊サービスを提供(利用者2人・58日)														
	4 生きがい活動支援通所事業	長寿福祉課	18,394	2,624(2,624)	市規定	単費	○	サービス	市民	委	5	生活支援安全網	1,3	A	終了・廃止
家に閉じこもりがちな高齢者に対しデイサービスセンターの入浴や機能訓練等サービスを提供(延べ4,967回)															
5 老人日常生活用具給付等事業	長寿福祉課	16	89(89)	市規定	単費	○	サービス	市民	扶	5	生活支援安全網	1,2	B	現状維持	
要援護老人及びひとり暮らし老人に対し日常生活用具を給付(電磁調理器1件)															
6 介護予防安心住まい推進事業	長寿福祉課	202	1,600-	府規定	国府全額	-	サービス	市民	補	5	生活支援安全網	1,3	B	終了・廃止	
住宅改修費用の一部を助成(対象費用16万円を上限として、2/3)(対象事業2件)															
7 家族介護支援事業	長寿福祉課	8,511	9,505(4,753)	国規定	国・一部	-	サービス	市民	直	6	生命財産権利保護	1,2,4	A	現状維持	
在宅介護を行っている家族への支援事業(認知症サポーター養成講座、家族介護教室、家族介護交流事業等)を実施															
8 成年後見制度利用支援事業	長寿福祉課	16	476(238)	国規定	国・一部	-	サービス	市民	直	6	生命財産権利保護	3	S	拡大	
成年後見人制度の啓発を図るとともに、高齢者支援関係者への制度紹介及び申立支援の実施															
9 福祉用具・住宅改修支援事業	長寿福祉課	16	20(10)	国規定	国・一部	-	サービス	市民	補	6	生命財産権利保護	2,4	A	現状維持	
介護保険における住宅改修費の支給の申請に係る理由書の作成に対して補助金を交付(8件)															
10 地域自立生活支援事業	長寿福祉課	61,182	65,841(65,841)	国規定	国・一部	-	サービス	市民	委	6	生命財産権利保護	1,3	A	統合(整理)	
介護保険の要介護認定で「自立」と認定された高齢者等へ生活支援サービスを提供															
11 高齢者安心生活支援事業	健康推進課	1,193	1,529(1,529)	なし	単費	○	サービス	市民	直	5	生活支援安全網	1,2	A	終了・廃止	
包括支援センター等との連携の下、高齢者を対象に保健師等が訪問指導を実施(延907件)															
3 社会参加を支える環境整備	1 福祉有償運送運営助成事業	長寿福祉課	13,533	16,541(12,811)	市規定	府・一部	含む	サービス	事業者	補	5	生活支援安全網	1,2	A	現状維持
福祉有償運送サービスを実施する事業者に補助金交付(利用者331人・12,302回)															

施策方針	事務事業 事業内容(実績) 担当課		予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果			
			H24決算額	H25予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	対象	実施 手法	関与必要性 数値 説明	施策 目的	施策 貢献度	今後の 方向性		
4 介護予防の推進	1 介護予防支援事業	長寿福祉課	18,421	21,691 (3,208)	義務	単費	○	-	-	-	-	-	1,3,4	A	現状維持	
	要支援1又は2と判定された方に対し、要介護状態への移行予防の観点から、介護予防ケアマネジメントを実施															
	2 二次予防事業対象者把握事業	長寿福祉課	25,137	3,123 (658)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1	A	統合(整理)	
	効果的な介護予防サービスを講じるため、生活機能低下のおそれのある高齢者を把握															
	3 通所型介護予防事業	長寿福祉課	2,332	22,057 (4,633)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,4	A	拡大	
	要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上を対象に、機能向上・栄養改善プログラムを実施															
	4 訪問型介護予防事業	長寿福祉課	4,699	6,079 (1,280)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,4	A	現状維持	
要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上を対象に、看護師・保育士による訪問を実施																
5 介護予防普及啓発事業	長寿福祉課	1,626	2,320 (488)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,3	A	現状維持		
65歳以上の高齢者に対し、予防のための実践教室・講習会・講座を開催(219回実施)																
6 地域介護予防活動支援事業	長寿福祉課	195	548 (117)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,2,3	A	現状維持		
介護予防に関わるボランティアの人材や地域活動組織の育成・支援等を実施																
7 地域包括支援センター事業	長寿福祉課	93,218	97,469 (10,813)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,2,3,4	S	現状維持		
地域包括支援センターを核とした各種関係機関との連携強化、高齢者の総合相談や実態把握																
5 介護保険制度の充実	1 網野通所介護事業(網野通所介護事業所一般経費を含む)	長寿福祉課	42,194	55,619 -	国規定	単費	○	サービス	市民	委	6	生命財産 権利保護	2,4	A	統合(整理)	
	要支援・要介護認定者に対し、通所のために必要な介助や機能訓練等を実施															
	2 弥栄通所介護事業(弥栄通所介護事業所一般経費を含む)	長寿福祉課	54,507	54,903 -	国規定	単費	○	サービス	市民	委	6	生命財産 権利保護	2,4	A	統合(整理)	
	要支援・要介護認定者に対し、通所のために必要な介助や機能訓練等を実施															
	3 老人保健施設介護サービス事業(老人保健施設一般経費等を含む)	長寿福祉課	516,786	598,197 (26,822)	国規定	単費	○	サービス	市民	委	6	生命財産 権利保護	2,4	A	現状維持	
	老人保健施設ふくじゅで介護を必要とする高齢者に対しリハビリを中心とした医療サービスと日常生活の介護サービスを提供															
	4 介護サービス利用負担軽減事業	長寿福祉課	19,140	19,000 (4,750)	国規定	府・一部	-	サービス	事業者	補	5	生活支援 安全網	4	A	現状維持	
介護保険サービス利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人等に助成金を交付(交付16法人等、対象者587人)																
5 老人福祉施設建設資金借入金償還補助金	長寿福祉課	46,860	46,566 (46,566)	市規定	単費	○	施設整備	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	4	A	縮小		
高齢者福祉の拠点施設整備を行った社会福祉法人に対し、施設整備債務の償還金額の一部を助成																
6 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金【明許繰越】	長寿福祉課	40,000	- -	国規定	国府全額	-	施設整備	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	4	A	現状維持		
介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し費用の一部を助成																
7 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金	長寿福祉課	13,912	2,214 -	国規定	国府全額	-	施設整備	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	4	A	現状維持		
介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し費用の一部を助成																
6 「健康大長寿」のまちづくり	1 健康長寿のまちづくり推進事業	長寿福祉課	1,955	1,893 (1,893)	なし	府・一部	-	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	1,3	A	現状維持	
	第5回健康大長寿のさとづくりシンポジウムを開催(来場者250人)															
	2 生涯現役社会推進検討経費	長寿福祉課	104	- -	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	-	1,3	A	縮小	
	生涯現役条例の状況を調査するために、条例を制定している先進地を視察(2人、茨城県高萩市役所)															
3 在宅健康管理システム事業【再掲】Ⅲ-①	健康推進課	3,265	2,776 (2,776)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	4	民間補完 福祉増進	1	A			
携帯端末機器と自動血圧計を活用して、在宅の市民に保健師が健康指導を実施(利用者数:延べ237人)																
4 長寿食レシビ集作成事業	健康推進課	-	901 (901)	平成25年度新規事業												
市民の健康づくりに活用するため長寿食レシビ集とモデルメニューを作成、健康観光推進のため旅館等へ提供																
施策方針への位置付けが困難な事業	1 高齢者福祉一般経費	長寿福祉課	561	590 (590)	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	-	1,2,3,4	A	現状維持	
	高齢者福祉施設の維持管理及び高齢者福祉事業に必要な事務経費															
計			1,219,878	1,267,145 (372,587)												

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成26～28年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
2	高齢者福祉施設(市有財産)について、「公共施設見直し計画」に基づき、当該施設で行っている事業の見直しを検討する。	5,079千円		

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	01敬老祝い事業
細事業名	01 敬老祝い事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
28,023千円		28,025千円	2千円	99.9 % 30,416千円

目的 各区等が行う敬老会事業に対して補助金を交付するとともに、喜寿・米寿・100歳以上の各対象者に対し祝い品を贈呈し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表する。

主要な事務・事業及び成果の概要

高齢者の長寿をお祝いし、今後もますます元気で健康に暮らしていただくことを祈念するために地区主催での敬老会実施を支援した。また、喜寿・米寿・100歳以上の方へ記念品を贈呈した。

■敬老会の主な内容
 式典・・・記念品の贈呈、敬老の言葉、祝電披露
 余興・・・演芸、合唱、踊りほか

町別	敬老会				記念品贈呈者数		
	対象者数 (75歳以上)	参加者数	参加率(%)		100歳以上	米寿	喜寿
			参加率	対前年比			
峰山	2,166	1,007	46.5	△ 1.4	11	89	169
大宮	1,549	630	40.7	△ 0.6	3	64	119
網野	2,602	935	35.9	0.9	21	100	206
丹後	1,355	632	46.6	△ 2.2	9	55	110
弥栄	1,141	595	52.1	0.7	8	56	79
久美浜	2,379	859	36.1	△ 0.9	24	102	161
合計	11,192	4,658	41.6	△ 0.5	76	466	844

○敬老会補助金（地区等開催） 25,099千円
 敬老会の補助金対象年齢は、75歳以上（補助金2,250円/人）
 ○喜寿、米寿、100歳以上の方への祝い品 2,924千円

主な財源

評価・課題等

高齢化の進展に伴い、今後対象者が増加する見込みであることから、支援のあり方等について検討する必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	03老人クラブ 活性化支援事業																					
細事業名	01 老人クラブ 活性化支援事業			決算書	P.140																				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																					
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																				
8,597千円		8,792千円	195千円	97.7%	9,009千円																				
目的	老人クラブの活動に対して助成を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する。																								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う友愛訪問活動事業、健康づくり事業、広報・加入促進事業等に対し、補助金を交付した。</p> <p>【実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>単位老人クラブ（97クラブ、2,785人）の活動に対する補助</td> <td>4,516 千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会の活動に対する補助</td> <td>395 千円</td> </tr> <tr> <td>友愛訪問活動事業に対する補助</td> <td>400 千円</td> </tr> <tr> <td>85歳以上の独居高齢者宅の訪問</td> <td>130戸</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームの訪問</td> <td>市内5か所、市外（京都市右京区）1か所</td> </tr> <tr> <td>各種スポーツ大会、健康講座等の健康づくり事業への補助</td> <td>620 千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助（年2回発行）</td> <td>621 千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会事務局員設置（2人）に対する補助</td> <td>1,500 千円</td> </tr> <tr> <td>府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助</td> <td>255 千円</td> </tr> <tr> <td>会員拡大・加入促進事業に対する補助</td> <td>290 千円</td> </tr> </table>					単位老人クラブ（97クラブ、2,785人）の活動に対する補助	4,516 千円	市老人クラブ連合会の活動に対する補助	395 千円	友愛訪問活動事業に対する補助	400 千円	85歳以上の独居高齢者宅の訪問	130戸	特別養護老人ホームの訪問	市内5か所、市外（京都市右京区）1か所	各種スポーツ大会、健康講座等の健康づくり事業への補助	620 千円	市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助（年2回発行）	621 千円	市老人クラブ連合会事務局員設置（2人）に対する補助	1,500 千円	府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助	255 千円	会員拡大・加入促進事業に対する補助	290 千円
単位老人クラブ（97クラブ、2,785人）の活動に対する補助	4,516 千円																								
市老人クラブ連合会の活動に対する補助	395 千円																								
友愛訪問活動事業に対する補助	400 千円																								
85歳以上の独居高齢者宅の訪問	130戸																								
特別養護老人ホームの訪問	市内5か所、市外（京都市右京区）1か所																								
各種スポーツ大会、健康講座等の健康づくり事業への補助	620 千円																								
市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助（年2回発行）	621 千円																								
市老人クラブ連合会事務局員設置（2人）に対する補助	1,500 千円																								
府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助	255 千円																								
会員拡大・加入促進事業に対する補助	290 千円																								
主な財源	府補	老人クラブ 助成事業費補助金	4,560千円																						
評価・課題等	<p>○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕事業等を支援することで事業を円滑に実施することができ、健康保持及び社会貢献に大きく寄与した。</p> <p>○会員数は年々減少傾向にある中、老人クラブの組織の充実強化について支援、協議等を行い、単位クラブの減少に一定歯止めがかかった。</p> <p>○今後も会員拡大、加入促進をするための活性化施策を進める必要がある。</p>																								
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																								

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	11 網野高齢者すこやかセンター-施設管理事業																	
細事業名	01 網野高齢者すこやかセンター-施設管理事業			決算書	P.140																
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																
9,112千円		9,205千円	93千円	98.9%	8,677千円																
目的	高齢者の生きがいや健康づくりの場として、サークル活動などの会場及び入浴施設を提供し、高齢者福祉の増進を図る。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。</p> <p>○事業の内容 施設の維持管理 (施設管理経費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>需用費</td> <td>5,466千円</td> <td>(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>169千円</td> <td>(通信運搬費、火災保険料)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,281千円</td> <td>(運営管理委託、消防設備保守点検等)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>196千円</td> <td>(清掃用具借上料、コピー機借上料)</td> </tr> </table> <p>年間施設利用者数</p> <table border="0"> <tr> <td>入浴利用者数</td> <td>17,865 人</td> </tr> <tr> <td>研修室等利用者数(件数)</td> <td>617 人 (71件)</td> </tr> </table>					需用費	5,466千円	(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)	役務費	169千円	(通信運搬費、火災保険料)	委託料	3,281千円	(運営管理委託、消防設備保守点検等)	使用料及び賃借料	196千円	(清掃用具借上料、コピー機借上料)	入浴利用者数	17,865 人	研修室等利用者数(件数)	617 人 (71件)
需用費	5,466千円	(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)																			
役務費	169千円	(通信運搬費、火災保険料)																			
委託料	3,281千円	(運営管理委託、消防設備保守点検等)																			
使用料及び賃借料	196千円	(清掃用具借上料、コピー機借上料)																			
入浴利用者数	17,865 人																				
研修室等利用者数(件数)	617 人 (71件)																				
主な財源	使用料 網野高齢者すこやかセンター-使用料			3,619千円																	
評価・課題等	<p>○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者福祉の推進に貢献している。</p> <p>○限られた高齢者による利用が主となっており、また、入浴施設は民間にも同様の施設があることから、市の公共施設見直し計画に基づき、民間などへの移譲を前提に協議・検討を進めていく必要がある。</p>																				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	14福祉施設等指定管理運営事業	
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書	P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,818千円		10,881千円	63千円	99.4%	10,881千円
目的	地域に根ざした高齢者拠点施設を、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により利用者に質の高い多様なサービスを提供し、もって高齢者福祉の増進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の運営管理を円滑に行うための経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理委託料 10,326千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 網野社会参加交流ハウス 1,299千円 (延べ利用者数：8,339人) ・ 丹後老人福祉センター松風苑 7,657千円 (延べ利用者数：5,972人) ・ 弥栄生きがい交流センター 1,370千円 (延べ利用者数：1,736人) ○修繕料 287千円 ○建物火災保険料 125千円 ○土地借上料（浜詰ふれあいセンター用地賃借料） 1,565㎡ 80千円 ※台帳面積割合による按分で土地借上料を算定する。 浜詰区：60千円 塩江区：20千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進が図れた。</p> <p>○地域の高齢者のために有効な施設であるが、市が今後も施設を保有運営していく必要があるのかも含め、効果検証等を行う必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	01シルバー人材センター運営助成事業																		
細事業名	01 シルバー人材センター運営助成事業			決算書 P.202																		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																		
23,743千円		23,743千円	0千円	23,743千円																		
目的	高齢者が長年にわたり培ってきた知識や技能を活かした就業機会の提供と、ボランティア活動をはじめとする社会参加を通じ、健康で生きがいのある生活と福祉の向上を目指す。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>定年退職者等に、地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センター事業を助成することにより、高齢者福祉の推進を図った。</p> <p>【事業概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度末</th> <th>平成23年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤職員</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>797人</td> <td>856人</td> </tr> <tr> <td>就業延べ人員</td> <td>65,223人</td> <td>68,538人</td> </tr> <tr> <td>受注件数</td> <td>5,296件</td> <td>5,327件</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>267,854千円</td> <td>272,520千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○全国シルバー人材センター協会賛助会員会費 50 千円 ○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費 50 千円 ○企画提案方式事業補助金 2,000 千円</p> <p>(1) 地域子育て支援事業（多世代交流サロン：峰山町丹波） 実施回数：8回 参加延べ人数：305人（大人146人・小人159人）</p> <p>(2) 高齢者の生きがい支援事業（いきいき大学） 実施回数：82回 参加延べ人数：709人 絵手紙教室、健康太極拳教室、書道教室、小物づくり等</p> <p>(3) 福祉・家事援助サービス事業 研修会：6回 63人 介護講習：7回 128人 料理講習：4回 51人 就業者意見交流会：2回 11人 料理講習、食事・車いす介助講習、認知症講習、防火講習会、就業者意見交流等</p> <p>○シルバー人材センター運営費補助金 21,643 千円</p>					平成24年度末	平成23年度末	常勤職員	8人	8人	会員数	797人	856人	就業延べ人員	65,223人	68,538人	受注件数	5,296件	5,327件	契約金額	267,854千円	272,520千円
		平成24年度末	平成23年度末																			
常勤職員	8人	8人																				
会員数	797人	856人																				
就業延べ人員	65,223人	68,538人																				
受注件数	5,296件	5,327件																				
契約金額	267,854千円	272,520千円																				
主な財源																						
評価・課題等	<p>高齢者の就業機会の確保に加え、高齢者が長年培ってきた知識や経験、技術等が地域社会に生かされるとともに、高齢者本人の生きがいづくりや社会参加の機会確保につながっている。</p>																					
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	02老人保護措置事業																																
細事業名	01 老人保護措置事業			決算書 P.138																																
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																																
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																																
154,406千円		154,605千円	199千円	99.8 % 158,400千円																																
目的	概ね65歳以上の方で、家族や住居の状況や経済的理由等により、居宅における生活の継続が困難な方を養護老人ホームに入所させ、生きがいのある健康で安らかな生活を確保する。																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホームに入所措置し、対象者の心身の健康の保持及び生活の安定を図った。</p> <p>【実績】</p> <p>養護老人ホーム入所措置事務費 16千円 入所判定委員会委員報償金 (4,000円×委員2人×2回)</p> <p>養護老人ホーム入所措置費 154,390千円</p> <p>○養護老人ホーム入所者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">23年度末 入所者数</th> <th colspan="2">24年度中異動</th> <th rowspan="2">24年度末 入所者数</th> </tr> <tr> <th>入所</th> <th>退所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満寿園 (京丹後市)</td> <td>58</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>成相山青嵐荘 (宮津市)</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>三愛荘 (福知山市)</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>長生園 (南丹市)</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>				施設名	23年度末 入所者数	24年度中異動		24年度末 入所者数	入所	退所	満寿園 (京丹後市)	58	10	12	56	成相山青嵐荘 (宮津市)	12	0	1	11	三愛荘 (福知山市)	3	0	0	3	長生園 (南丹市)	1	0	0	1	合計	74	10	13	71
	施設名	23年度末 入所者数	24年度中異動				24年度末 入所者数																													
入所			退所																																	
満寿園 (京丹後市)	58	10	12	56																																
成相山青嵐荘 (宮津市)	12	0	1	11																																
三愛荘 (福知山市)	3	0	0	3																																
長生園 (南丹市)	1	0	0	1																																
合計	74	10	13	71																																
主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金			32,390千円																																
評価・課題等	<p>○地域包括支援センター等との連携により、申請者の状況把握に努め、入所措置をすることにより高齢者虐待の防止と生活改善に寄与した。</p> <p>○今後は、高齢化に伴い入所希望者も増えることが予想されるが、適切な入所措置に努めるとともに、入所措置とならない方を支援するため、さらに他施策と連携する必要がある。</p>																																			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																																			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	05軽度生活援助事業												
細事業名	01 軽度生活援助事業			決算書 P.140												
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実												
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額												
336千円		420千円	84千円	80.0% 420千円												
目的	在宅の高齢者が住み慣れた地域社会の中で、引き続き自立した生活を営むことを支援し、高齢者の福祉の向上を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>食材・日用品の買出しや洗濯、家屋内の清掃など、軽易な日常生活上の援助を行う者を派遣することにより、自立した生活を営めるよう支援した。</p> <p>【実績】</p> <table> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>109人</td> <td>(実利用者数12人)</td> </tr> <tr> <td>延べ利用日数</td> <td>415日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ利用時間</td> <td>480.5時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽度生活援助委託料</td> <td>336千円</td> <td>(700円×480.5時間)</td> </tr> </table> <p>※主な内容：買物、洗濯、清掃、調理等</p> <p>(事業委託先) 社団法人京丹後市シルバー人材センター</p>				延べ利用者数	109人	(実利用者数12人)	延べ利用日数	415日		延べ利用時間	480.5時間		軽度生活援助委託料	336千円	(700円×480.5時間)
延べ利用者数	109人	(実利用者数12人)														
延べ利用日数	415日															
延べ利用時間	480.5時間															
軽度生活援助委託料	336千円	(700円×480.5時間)														
主な財源																
評価・課題等	ひとり暮らしの高齢者や支援を必要とする高齢者のみの世帯に対し、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を支援することができた。															
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課															

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	06生活管理指導事業						
細事業名	01 生活管理指導事業			決算書 P.140						
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実						
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額						
133千円		198千円	65千円	67.1 % 292千円						
目的	生活習慣の欠如など社会生活の適応が困難な高齢者に対して、養護老人ホーム等において短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援を行い、自立した生活の助長を図る。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>要介護状態ではないが、社会生活の適応が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等において短期間の宿泊サービスを提供することにより、生活習慣の指導や体調調整を行い、在宅生活を営めるよう支援した。</p> <p>【実績】</p> <table> <tr> <td>利用者数</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td>58日</td> </tr> <tr> <td>生活管理指導事業委託料</td> <td>133千円 (2,080円× 51日) (3,810円× 7日)</td> </tr> </table> <p>(事業委託先)</p> <p>社会福祉法人あしぎぬ福祉会 社会福祉法人丹後福祉会</p>				利用者数	2人	利用日数	58日	生活管理指導事業委託料	133千円 (2,080円× 51日) (3,810円× 7日)
利用者数	2人									
利用日数	58日									
生活管理指導事業委託料	133千円 (2,080円× 51日) (3,810円× 7日)									
主な財源										
評価・課題等	さらなる高齢者化社会の進展が予想される中、在宅生活を営めるよう支援を行うことで、社会生活の適応が困難な高齢者の自立した生活の助長を図ることができた。									
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課									

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	07生きがい活動支援通所事業																								
細事業名	01 生きがい活動支援通所事業			決算書 P.140																								
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																								
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																								
18,394千円		18,394千円	0千円	100.0 % 18,917千円																								
目的	家に閉じこもりがちな在宅の高齢者に対し、デイサービスセンター等において入浴や機能訓練等の各種サービスを提供し、心身の機能の維持向上を図る。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>家に閉じこもりがちな在宅の高齢者に対して、デイサービスセンター等において入浴や機能訓練等の各種サービスを提供することにより、高齢者が生きがいをもって自立した生活を送るとともに、心身機能の維持向上を図ることを支援した。</p> <p>○生きがい活動支援通所事業委託料 18,394千円</p> <p>【実績】 (単位：回、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託先</th> <th>延べ利用回数</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(福)みねやま福祉会</td> <td>156</td> <td>562</td> </tr> <tr> <td>(福)丹後福祉会</td> <td>314</td> <td>1,696</td> </tr> <tr> <td>(福)はしうど福祉会</td> <td>99</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>(福)あしぎぬ福祉会</td> <td>655</td> <td>1,965</td> </tr> <tr> <td>(福)京丹後市社会福祉協議会(大宮)</td> <td>2,960</td> <td>10,672</td> </tr> <tr> <td>(福)京丹後市社会福祉協議会(久美浜)</td> <td>783</td> <td>2,999</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,967</td> <td>18,394</td> </tr> </tbody> </table> <p>みねやま福祉会（はごろも苑）、丹後福祉会（浜詰ふれあいセンター） はしうど福祉会（いちがお園） あしぎぬ福祉会（いきがい交流センター・弥栄保健福祉センター） 京丹後市社会福祉協議会（京丹後市社会福祉協議会大宮支所、 久美浜福祉センター、久美浜農業センター）</p>				委託先	延べ利用回数	委託金額	(福)みねやま福祉会	156	562	(福)丹後福祉会	314	1,696	(福)はしうど福祉会	99	500	(福)あしぎぬ福祉会	655	1,965	(福)京丹後市社会福祉協議会(大宮)	2,960	10,672	(福)京丹後市社会福祉協議会(久美浜)	783	2,999	計	4,967	18,394
	委託先	延べ利用回数	委託金額																									
(福)みねやま福祉会	156	562																										
(福)丹後福祉会	314	1,696																										
(福)はしうど福祉会	99	500																										
(福)あしぎぬ福祉会	655	1,965																										
(福)京丹後市社会福祉協議会(大宮)	2,960	10,672																										
(福)京丹後市社会福祉協議会(久美浜)	783	2,999																										
計	4,967	18,394																										
主な財源	府補 未来づくり交付金（生きがい活動支援通所事業）			8,000千円																								
評価・課題等	○各種サービスの提供により、閉じこもりがちな在宅の高齢者の介護予防に効果があった。 ○利用者ごとに事業評価を行うなど事業内容の見直しが必要となるが、介護予防事業に統一していく必要がある。																											
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																											

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	08老人日常生活用具給付等事業										
細事業名	01 老人日常生活用具給付等事業			決算書 P.140										
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実										
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額										
16千円		114千円	98千円	14.0% 114千円										
目的	ひとり暮らしの要援護老人等に対し、電磁調理器等を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図るとともに、老人福祉電話の貸与を行うことで、福祉の向上を図る。													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>65歳以上の要援護老人及びひとり暮らし老人に対し、必要に応じて日常生活用具を給付や貸与を行った。(対象者の収入に応じて負担額を設定)</p> <p>平成24年度は電磁調理器を1件給付したほか、老人用電話回線の貸与を行った。回線の新規貸与は無く、休止は1件であった。</p> <p>○電磁調理器の給付</p> <table border="0"> <tr> <td>給付件数</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>給付金額</td> <td>14 千円</td> </tr> </table> <p>○老人福祉電話の貸与</p> <table border="0"> <tr> <td>新規設置</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>休止回線</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>休止手数料</td> <td>2 千円</td> </tr> </table>				給付件数	1 件	給付金額	14 千円	新規設置	0 件	休止回線	1 件	休止手数料	2 千円
給付件数	1 件													
給付金額	14 千円													
新規設置	0 件													
休止回線	1 件													
休止手数料	2 千円													
主な財源														
評価・課題等	防火等の配慮が必要なひとり暮らし老人等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付や貸与することで住み慣れた地域での生活の維持に貢献している。													
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課													

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	16介護予防安心住まい推進事業	
細事業名	01 介護予防安心住まい推進事業			決算書	P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
202千円		202千円	0千円	100.0%	1,600千円
目的	要介護状態となるおそれが高い高齢者等の住宅改修費用の一部を助成することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	65歳以上の要介護状態となるおそれが高い虚弱な状態にある高齢者等で、市民税非課税世帯の方の住宅改修費用の3分の2を助成した。(上限160千円)				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助対象工事 <ul style="list-style-type: none"> ① 手すりの取り付け ② 段差の解消 ③ 滑りの防止、移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更 ④ 引き戸等への扉の取替え ⑤ 様式便所等への便器の取替え ⑥ その他①から⑤の住宅改修に附帯して必要となる住宅改修 ○ 事業実績 <ul style="list-style-type: none"> 補助対象工事費 319 千円 補助金額 202 千円 事業実施件数 2 件 (手すりの取り付け、段差の解消) 				
主な財源	府補	介護予防安心住まい推進事業補助金 (10/10)			202千円
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○要介護状態となるおそれが高い高齢者等の住宅改修費用の一部を助成することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止が図られ、高齢者が自宅で生活を営むことを支援することができた。 ○府からの全額補助の制度であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要がある。 				
事業所管課		健康長寿福祉部／長寿福祉課			

事業名		家族介護支援事業							
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
8,511千円		9,412千円		901千円		90.4 %	9,625千円		
目的	在宅で概ね65歳以上の高齢者を介護している家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減並びに心身の回復を支援し、在宅福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	市の認知症対策として市地域、介護保険事業所等と連携し、認知症高齢者見守り事業（認知症サポーター養成講座、徘徊搜索模擬訓練、交流会等）を実施した。 また、介護による家族の精神的・肉体的・経済的な負担軽減を図るため、家族介護教室事業、家族介護交流事業、介護用品支給事業及び家族介護慰労金事業を実施した。								
	○ 認知症高齢者見守り事業						234 千円		
	・ 認知症サポーター養成講座						464人受講（19講座）		
	○ 家族介護教室事業						206 千円		
		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	計
	参加人数	5人	3人	5人	3人	6人	19人	1人	42人
	○ 家族介護交流事業						436 千円		
	・ 市全体実施分								
		第1回	第2回	第3回	計				
	参加人数	35人	52人	25人	112人				
・ 町ごとの実施分									
	合同実施		合同実施			久美浜	計		
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄				
参加人数	7人	6人	9人	5人	6人	7人	40人		
○ 介護用品支給事業						7,635 千円			
・ 支給件数						164件			
・ 平均支給額						47千円/件			
○ 家族介護慰労金事業						0 千円			
主な財源	国補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）					2,202千円		
	府補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）					1,101千円		
	繰入金	一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）					3,077千円		
評価・課題等	○認知症高齢者見守り事業の実施により、認知症に対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、ボランティアの育成及び本人や家族を支援することができた。 ○家族介護者の精神的な負担の軽減について、一定の成果が図れた。								

事業名		成年後見制度利用支援事業															
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考) 当初予算額										
	16千円		27千円		11千円	59.2%	295千円										
目的	<p>認知症等の理由で判断能力が低下した方に代わって契約等の法律行為を行うなど、その方を保護・支援する成年後見制度の利用が進むよう、制度の啓発と申立支援や助成を行う。</p>																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>成年後見制度の利用が必要な状況であるにもかかわらず、制度がわからない、申立てを行う親族がいない、低所得者で費用負担ができない等の理由で制度の利用ができない方を対象に、高齢者の支援に関わっている関係者（家族、親戚、民生委員、介護支援専門員、社会福祉協議会など）からの相談に対して、制度の紹介や申立ての支援（成年後見制度審判請求支援）を行った。</p> <p>また、低所得で申立てや後見人報酬の費用負担が困難な方に対して、その費用の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談件数・・・・・・・・・・20件（実人数：9人） ○ 成年後見制度審判請求支援・・・・5件（市長申立を含む） ○ 市長申立件数・・・・・・・・・・2件（後見類型） <ul style="list-style-type: none"> ※ 平成25年度の市長申立に向けて、調査・検討中・・・・2件 ○ 報酬助成件数・・・・・・・・・・0件 <ul style="list-style-type: none"> ※ 平成24年度に申立て、25年度に助成予定の件数・・・・2件 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・ 申立てに係る郵券料</td> <td style="text-align: right;">4千円</td> </tr> <tr> <td>・ 申立てに係る登記手数料</td> <td style="text-align: right;">7千円</td> </tr> <tr> <td>・ 申立てに係る精神鑑定手数料</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> </tr> <tr> <td>・ 成年後見用診断書作成手数料</td> <td style="text-align: right;">5千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">16千円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※うち、5,450円は本人から求償</p>							・ 申立てに係る郵券料	4千円	・ 申立てに係る登記手数料	7千円	・ 申立てに係る精神鑑定手数料	0千円	・ 成年後見用診断書作成手数料	5千円	合計	16千円
・ 申立てに係る郵券料	4千円																
・ 申立てに係る登記手数料	7千円																
・ 申立てに係る精神鑑定手数料	0千円																
・ 成年後見用診断書作成手数料	5千円																
合計	16千円																
主な財源	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">国補</td> <td style="width: 70%;">地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">4千円</td> </tr> <tr> <td>府補</td> <td>地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）</td> <td style="text-align: right;">2千円</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）</td> <td style="text-align: right;">6千円</td> </tr> </table>						国補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	4千円	府補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	2千円	繰入金	一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）	6千円		
国補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	4千円															
府補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	2千円															
繰入金	一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）	6千円															
評価・課題等	<p>○制度の啓発や申立の支援・助成を行うことで、成年後見制度の活用につなげることができた。</p> <p>○後見人等の引き受け手不足になっている現状があり、今後他市町の動向を注視しながら、制度利用の促進の体制整備などに取り組む必要がある。</p> <p>○制度が十分に浸透してるとは言えない状況から、広報等を有効に活用しながら市民に向けて制度を周知していくとともに、市だけでは対応が困難な事例に対し今後も関係機関と連携を図っていく必要がある。</p>																

事業名		福祉用具・住宅改修支援事業					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
	16千円		20千円		4千円	80.0%	20千円
目的	住宅改修費の支給申請にかかる「住宅改修理由書」を作成した居宅介護支援事業所等に対して、補助金を交付することで、住宅改修事業を支援する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>居宅介護支援を受けていない要介護者等の住宅改修理由書を、介護支援専門員が作成した場合、理由書1件につき2,000円の補助金を交付する。</p> <p>○ 住宅改修理由書作成補助金 (2千円×8件) 16千円</p>						
主な財源	国補	地域支援事業交付金 (包括的支援事業・任意事業)					4千円
	府補	地域支援事業交付金 (包括的支援事業・任意事業)					2千円
	繰入金	一般会計繰入金 (包括的支援事業・任意事業)					6千円
評価・課題等	○本補助金の交付により住宅改修費の支給申請をスムーズに行うことができ、要介護高齢者の身体状況・住宅環境に合った住宅改修の促進の一助となった。						

事業名		地域自立生活支援事業					
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
61,182千円		61,539千円	357千円	99.4 %	71,844千円		
目的	生活支援サービスを提供することで、高齢者及び障害者が住み慣れた地域社会の中で、引き続き自立した生活を継続していくことを支援し、高齢者等の福祉の向上を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	○ 食の自立支援サービス事業						
	食事の支度が困難なため日常生活に支障のあるひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、ひとり暮らしの重度障害者等に対し、定期的に栄養のバランスの取れた食事や、病態食、特別食などを配達するとともに、配達時に安否の確認を行った。						
	<ul style="list-style-type: none"> 配食サービス委託料 47,660千円 網野栄養支援センター維持管理費ほか 5,590千円 提供食数(朝、昼、夕の計) (単位:食) 						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	4,639	4,803	4,575	4,748	4,574	4,501	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	4,713	4,432	4,187	3,808	3,531	3,966	52,477
	○ 安心生活見守り事業						
	ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯及びこれに準ずる世帯並びに重度心身障害者等高齢者等のいる世帯へ緊急通報装置を貸与し、家庭内の事故等による通報・相談に24時間365日専門知識を有するオペレータが対応した。						
	<ul style="list-style-type: none"> 安心生活見守り事業委託料 7,932千円 設置数 (単位:件) 						
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	計
新規設置数	6	7	14	8	0	4	39
設置数(年度末時点)	111	59	161	43	37	36	447
<ul style="list-style-type: none"> 利用実績 (単位:回) 							
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	計
緊急通報回数	8	2	10	5	3	2	30
うち救急車搬送	8	1	5	5	2	2	23
相談・連絡回数	112	43	150	44	55	50	454
主な財源	国補	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)				15,832千円	
	府補	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)				7,916千円	
	使用料	地域支援事業使用料(食の自立支援サービス利用料)				22,122千円	
	繰入金	一般会計繰入金(包括的支援事業・任意事業)				7,962千円	
評価・課題等	<p>○食の自立支援サービス事業については、定期的に栄養バランスのとれた食事等を配達することで、高齢者や障害者が住み慣れた地域の中で自立した生活の継続につながった。</p> <p>○安心生活見守り事業については、独居高齢者等に対し緊急通報装置を貸与することで、緊急時の対応はもとより、日常生活における健康上の不安及び孤独感の解消が図れた。</p>						

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	15高齢者安心生活支援事業				
細事業名	01 高齢者安心生活支援事業						決算書	P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実			
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率		(参考) 当初予算額	
1,193千円		1,489千円		296千円	80.1 %		1,489千円	
目的	市域中心部から離れ、交通の利便も悪く、医療機関からも遠いなどの地域の高齢者に対して、保健師等による訪問指導を行い、心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	対象地区内の65歳以上の高齢者を対象に保健師等が訪問し、健康状態の把握、健康管理指導を行い、必要に応じて包括支援センターやその他関係機関につなぐなど連携を図った。							
	○訪問実績							
		継続分		新規分		合計		
		実件数	延件数	地区数	実件数	延件数	実件数	延件数
	峰山町	0	0	2	62	65	62	65
	大宮町	3	5	3	88	91	91	96
	網野町	20	25	0	0	0	20	25
	丹後町	41	46	1	78	81	119	127
	弥栄町	35	208	0	0	0	35	208
	久美浜町	10	14	10	365	372	375	386
合計	109	298	16	593	609	702	907	
※無医地区、辺地、過疎地域などから、年度ごとに計画的に訪問地区を設定し、全数訪問を行った結果、引き続き支援が必要な方については継続訪問を行っている。								
※介護保険の要介護認定者、福祉サービス利用者については、適宜実態把握を行っているため対象外としている。								
○事業費								
臨時保健師賃金(2人)						834千円		
臨時看護師賃金(1人)						357千円		
需用費(消耗品)						2千円		
主な財源								
評価・課題等	○保健師等が対象地区を訪問し、対象者の健康状態の把握や健康管理指導を行うことにより、高齢者が健康で自立した生活を送るための支援ができた。 ○平成25年度末に訪問予定地区の訪問が終了するため、元気な方への健康指導、相談窓口の周知、支援の必要な方への継続指導の方法など、今後の事業の在り方を検討する必要がある。							
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課							

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	04福祉有償運送運営助成事業																																																																				
細事業名	01 福祉有償運送運営助成事業			決算書 P.140																																																																				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																																																																				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																																																																				
13,533千円		14,006千円	473千円	96.6 % 15,716千円																																																																				
目的	福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図る。																																																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対し、移送サービスを提供する福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図った。また、低所得者が利用した場合に事業者が減免した利用料に対し、補助を行った。</p> <p>【事業実績】</p> <p>実利用者数 331 人 延べ利用回数 12,302 回 福祉有償運送事業費補助金 12,515 千円 総事業費 (23,146千円) - 利用料収入 (10,631千円)</p> <p>【実績内訳】</p> <p>利用登録者数等 (平成25年3月末現在) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>峰山町</th> <th>大宮町</th> <th>網野町</th> <th>丹後町</th> <th>弥栄町</th> <th>久美浜町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>98</td> <td>116</td> <td>136</td> <td>80</td> <td>51</td> <td>80</td> <td>561</td> </tr> <tr> <td>実利用者</td> <td>59</td> <td>62</td> <td>79</td> <td>43</td> <td>31</td> <td>57</td> <td>331</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象者延べ利用回数 (単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>峰山町</th> <th>大宮町</th> <th>網野町</th> <th>丹後町</th> <th>弥栄町</th> <th>久美浜町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者</td> <td>741</td> <td>744</td> <td>1,560</td> <td>413</td> <td>459</td> <td>592</td> <td>4,509</td> </tr> <tr> <td>透析者</td> <td>832</td> <td>891</td> <td>955</td> <td>683</td> <td>547</td> <td>3,054</td> <td>6,962</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>87</td> <td>204</td> <td>204</td> <td>104</td> <td>36</td> <td>196</td> <td>831</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,660</td> <td>1,839</td> <td>2,719</td> <td>1,200</td> <td>1,042</td> <td>3,842</td> <td>12,302</td> </tr> </tbody> </table> <p>【利用料減免補助】 (※京都府地域包括ケア総合交付金事業) 1,018 千円</p> <p>内 訳</p> <table border="1"> <tr> <td>・社会福祉協議会 減免分</td> <td>916 千円</td> </tr> <tr> <td>・NPOのついで 減免分</td> <td>102 千円</td> </tr> </table>					峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	登録者数	98	116	136	80	51	80	561	実利用者	59	62	79	43	31	57	331		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	高齢者	741	744	1,560	413	459	592	4,509	透析者	832	891	955	683	547	3,054	6,962	障害者	87	204	204	104	36	196	831	合計	1,660	1,839	2,719	1,200	1,042	3,842	12,302	・社会福祉協議会 減免分	916 千円	・NPOのついで 減免分	102 千円
		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計																																																																
	登録者数	98	116	136	80	51	80	561																																																																
	実利用者	59	62	79	43	31	57	331																																																																
		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計																																																																
	高齢者	741	744	1,560	413	459	592	4,509																																																																
	透析者	832	891	955	683	547	3,054	6,962																																																																
	障害者	87	204	204	104	36	196	831																																																																
	合計	1,660	1,839	2,719	1,200	1,042	3,842	12,302																																																																
	・社会福祉協議会 減免分	916 千円																																																																						
・NPOのついで 減免分	102 千円																																																																							
主な財源	市債	過疎地域自立促進特別事業債 (過疎対策債)	2,600千円																																																																					
	府補	京都府地域包括ケア総合交付金	1,017千円																																																																					
評価・課題等	<p>○高齢化の進展とともに利用者は増加傾向であり、高齢者等の日常の足として有効に利用され、欠かせない交通手段となっている。また、福祉有償運送事業がコミュニティビジネスとして運営され、地域福祉の推進に寄与した。</p> <p>○市からは事業費の収支不足分を補助金として支出しているため、事業者に一層効率的な事業運営を求めていく必要がある。</p>																																																																							
事業所管課	健康長寿福祉部 / 長寿福祉課																																																																							

事業名	介護予防支援事業			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
18,421千円	19,363千円	942千円	95.1 %	18,955千円

目的	要支援1又は2と判定された方に対して、要介護状態への移行予防の観点から、介護予防ケアマネジメントを行う。																																																																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>要支援者が心身の状況や置かれた環境、本人・家族等の希望を踏まえ、介護予防に資する医療・福祉サービスを適切に利用できるよう介護予防支援計画の作成を、地域包括支援センターで行うとともに、業務の一部を居宅介護支援事業者に委託して実施した。また、その計画に基づいたサービスの提供が確保されるよう事業者等との連絡調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臨時職員賃金、共済費（社会保険料及び雇用保険料） 8,200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健師（2人）、社会福祉士（1人）、介護支援専門員（1人） 看護師（1人） ○ 事務費（消耗品費、職員旅費） 135千円 ○ 公用車（訪問車）リース料、燃料代、自動車損害保険料 284千円 ○ ADSL回線等使用料 1,127千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターと業務委託先の居宅介護事業者間におけるデータ送受信 ○ 地域包括支援センターシステム保守委託料 1,604千円 ○ 介護予防支援業務委託料（25事業所） 7,050千円 ○ 各種研修会参加負担金 21千円 <p>【事業の成果】 (予防給付サービス利用件数[月別延べ利用者数]) (予防給付支援計画作成件数)</p> <table border="1"> <tr> <td>市直営</td> <td>2,885件</td> </tr> <tr> <td>委託</td> <td>1,649件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,534件</td> </tr> </table> <p>(予防給付サービス利用件数 [月別延べ利用者数])</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>累計</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託</td> <td>137</td> <td>139</td> <td>134</td> <td>129</td> <td>133</td> <td>141</td> <td>141</td> <td>148</td> <td>143</td> <td>139</td> <td>134</td> <td>131</td> <td>1649</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>直営</td> <td>233</td> <td>223</td> <td>220</td> <td>231</td> <td>233</td> <td>239</td> <td>233</td> <td>244</td> <td>251</td> <td>252</td> <td>257</td> <td>269</td> <td>2885</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>370</td> <td>362</td> <td>354</td> <td>360</td> <td>366</td> <td>380</td> <td>374</td> <td>392</td> <td>394</td> <td>391</td> <td>391</td> <td>400</td> <td>4534</td> <td>378</td> </tr> </tbody> </table>	市直営	2,885件	委託	1,649件	計	4,534件		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	委託	137	139	134	129	133	141	141	148	143	139	134	131	1649	137	直営	233	223	220	231	233	239	233	244	251	252	257	269	2885	240	計	370	362	354	360	366	380	374	392	394	391	391	400	4534	378
市直営	2,885件																																																																		
委託	1,649件																																																																		
計	4,534件																																																																		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均																																																					
委託	137	139	134	129	133	141	141	148	143	139	134	131	1649	137																																																					
直営	233	223	220	231	233	239	233	244	251	252	257	269	2885	240																																																					
計	370	362	354	360	366	380	374	392	394	391	391	400	4534	378																																																					
主な財源	サービス収入 介護予防サービス計画費収入 18,421千円																																																																		
評価・課題等	適切な介護予防支援計画の作成により、要支援者が住み慣れた地域で、安心、安全に暮らすことができるよう介護予防サービスにつなげることができた。																																																																		

事業名		二次予防事業対象者把握事業																		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考) 当初予算額													
	25,137千円		25,225千円		88千円	99.6%	26,162千円													
目的	生活機能が低下し要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の高齢者（二次予防事業対象者）を早期に把握し、効果的な介護予防サービスを講じる。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	二次予防事業対象者を早期に把握するため、65歳以上の介護保険被保険者のうち、要介護・要支援認定者を除いた第1号被保険者を対象に生活機能に関する状態の把握調査を次のとおり実施した。																			
	基本チェックリスト実施者数		9,907 人																	
	二次予防事業対象者数		4,371 人																	
	<p>● 実施方法</p> <table border="1"> <tr> <td>総合健診申込者</td> <td colspan="6">総合健診において、医師による基本チェックリスト該当項目や生活機能チェック・生活機能検査を実施</td> </tr> <tr> <td>総合健診未申込者</td> <td colspan="6">基本チェックリストを郵送し、持参又は郵送により提出された基本チェックリストに基づき、把握調査を実施</td> </tr> </table>							総合健診申込者	総合健診において、医師による基本チェックリスト該当項目や生活機能チェック・生活機能検査を実施						総合健診未申込者	基本チェックリストを郵送し、持参又は郵送により提出された基本チェックリストに基づき、把握調査を実施				
総合健診申込者	総合健診において、医師による基本チェックリスト該当項目や生活機能チェック・生活機能検査を実施																			
総合健診未申込者	基本チェックリストを郵送し、持参又は郵送により提出された基本チェックリストに基づき、把握調査を実施																			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消耗品費 85千円 ○ 印刷製本費 147千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本チェックリスト送付用封筒 ○ 通信運搬費 712千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本チェックリスト郵送代 ○ 二次予防事業対象者把握委託料 24,193千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合健診申込者に対する状態把握に係る業務委託先：(財)京都予防医学センター 																			
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）					7,773千円													
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）、地域包括ケア総合交付金（10/10）					3,886千円													
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）					11,447千円													
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）					2,031千円													
評価・課題等	<p>○二次予防事業対象者を早期に把握したことにより、運動器の向上プログラムなどの通所型介護予防事業や保健師などの訪問による介護予防事業につなげることができた。</p> <p>○基本チェックリストが提出されなかったなどにより把握のできなかった対象者については、民生児童委員からの情報などにより把握に努め、早期に対象者を把握することで効果的な介護予防サービスにつなげていく必要がある。</p>																			

事業名		通所型介護予防事業																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																
	2,332千円		2,938千円		606千円	79.3%	4,093千円																
目的	通所による生活機能の向上や心身機能の改善のための介護予防プログラムを実施し、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化を防止する。																						
主要な事務・事業及び成果の概要	要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の高齢者（二次予防事業対象者）を対象に、直営・委託にて運動器の機能向上プログラム、栄養改善プログラムを実施した。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>実施箇所数</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数（実）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器の機能向上プログラム</td> <td>9か所</td> <td>107回</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>栄養改善プログラム</td> <td>2か所</td> <td>16回</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11か所</td> <td>123回</td> <td>86人</td> </tr> </tbody> </table>							実施内容	実施箇所数	実施回数	参加人数（実）	運動器の機能向上プログラム	9か所	107回	78人	栄養改善プログラム	2か所	16回	8人	計	11か所	123回	86人
	実施内容	実施箇所数	実施回数	参加人数（実）																			
	運動器の機能向上プログラム	9か所	107回	78人																			
	栄養改善プログラム	2か所	16回	8人																			
	計	11か所	123回	86人																			
	○ 臨時職員賃金 348千円																						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時職員等賃金（運動教室） 172千円 ・ 臨時看護師賃金（運動教室） 102千円 ・ 臨時栄養士賃金（栄養教室） 74千円 																						
	○ 報償費 487千円																						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理学療法士謝金（運動教室） 157千円 ・ 運動講師謝金（運動教室） 300千円 ・ 運動講師謝金（栄養教室） 18千円 ・ 歯科栄養士謝金（栄養教室） 12千円 																						
○ 消耗品費 48千円																							
○ 燃料費（運動・栄養教室） 49千円																							
○ 通信運搬費（運動・栄養教室） 33千円																							
○ 傷害保険料（運動教室参加者保険料） 80千円																							
○ 委託料 1,285千円																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防事業委託料（運動教室） 1,013千円 ・ 送迎車運転委託料（運動教室） 194千円 ・ 送迎車運転委託料（栄養教室） 24千円 ・ 血液検査委託料（運動教室） 54千円 																							
○ 施設使用料（栄養教室） 2千円																							
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）					721千円																
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）					361千円																
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）					1,062千円																
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）					188千円																
評価・課題等	<p>○運動器の機能向上プログラムや栄養改善プログラムを実施することにより、要介護等の状態になることの予防につなげることができた。</p> <p>○市の高齢化率はますます高まっており、介護予防を促進するため、現行事業の参加率の向上や、今後認知症者の増加が懸念される中、初期認知症サロンの実施を検討していく必要がある。</p>																						

事業名		訪問型介護予防事業											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額									
4,699千円	4,757千円	58千円	98.7%	8,222千円									
目的	生活機能の向上や心身機能の改善のための訪問指導を実施することにより、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化を防止する。												
主要な事務・事業及び成果の概要	二次予防事業対象者で閉じこもり、認知症やうつ等のおそれがある方、心身の状況等により通所形態による介護予防事業の参加が困難である方を対象に、看護師、保健師が訪問指導を行った。												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問型</td> <td>20人</td> <td>169人</td> </tr> <tr> <td>訪問指導</td> <td>244人</td> <td>692人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 臨時職員賃金 4,110千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時看護師 1人 1,913千円 ・ 臨時保健師 2人 2,197千円 <p>○ 共済費（社会保険料・雇用保険料） 589千円</p>						実人数	延べ人数	訪問型	20人	169人	訪問指導	244人
	実人数	延べ人数											
訪問型	20人	169人											
訪問指導	244人	692人											
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）			1,453千円								
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）			727千円								
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）			2,140千円								
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）			379千円								
評価・課題等	<p>○訪問により、必要な相談や指導を行ったことで、介護予防意識が高められ、通所型プログラムへの参加や地域の自発的活動への参加につながった。</p> <p>○訪問型の定期訪問により、より細かく二次予防事業対象者のハイリスクの方への指導ができ、うつや引きこもりの予防、また介護サービスへの移行もできた。</p>												

事業名	介護予防普及啓発事業			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,626千円	2,322千円	696千円	70.0 %	2,502千円

目的	介護予防講演会の開催や高齢者が集う場所等での介護予防のための情報提供等を行い、介護予防知識の普及・啓発を図る。																
主要な事務・事業及び成果の概要	65歳以上の高齢者に対し、運動機能低下を予防するための実践教室、低栄養予防のための講習会、その他介護予防のための講座を開催し、介護予防知識の普及・啓発を図った。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防教室等の開催</td> <td>いきいき運動教室、リハビリ教室、男性料理教室等</td> <td>162回</td> <td>2,188人</td> </tr> <tr> <td>相談会や講演会の開催</td> <td>サロン、老人クラブへの健康相談・講演</td> <td>57回</td> <td>499人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>219回</td> <td>2,687人</td> </tr> </tbody> </table>			実施内容	実施回数	参加人数	介護予防教室等の開催	いきいき運動教室、リハビリ教室、男性料理教室等	162回	2,188人	相談会や講演会の開催	サロン、老人クラブへの健康相談・講演	57回	499人	計		219回
実施内容	実施回数	参加人数															
介護予防教室等の開催	いきいき運動教室、リハビリ教室、男性料理教室等	162回	2,188人														
相談会や講演会の開催	サロン、老人クラブへの健康相談・講演	57回	499人														
計		219回	2,687人														
	○ 臨時職員賃金		177千円														
	・ 臨時職員	1人	111千円														
	・ 臨時看護師	1人	66千円														
	○ 報償費		329千円														
	・ 講師謝金 (いきいき運動倶楽部、高齢者サロン健康相談)																
	○ 需用費		410千円														
	・ パンフレット、事務用品、公用車燃料代、車検費用等																
	実践教室、講座など材料代																
	○ 役務費		134千円														
	・ 郵送料 (事業案内等)		57千円														
	・ 自動車登録手数料、自動車損害共済保険料、自動車損害保険料		33千円														
	・ 介護予防 (機能訓練) や研修会等参加者傷害保険料		44千円														
	○ 委託料		568千円														
	・ いきいき運動倶楽部委託料		439千円														
	・ 送迎車運転委託料 (高齢者サロン健康相談)		129千円														
	○ 使用料及び賃借料 (会場使用料他)		8千円														
主な財源	国補	地域支援事業交付金 (介護予防事業)	503千円														
	府補	地域支援事業交付金 (介護予防事業)	251千円														
	支払基金交付金	支払基金交付金 (介護予防事業)	740千円														
	繰入金	一般会計繰入金 (介護予防事業)	132千円														
評価・課題等	<p>○身体機能の低下から閉じこもりがちになる高齢者にとって参加しやすい地域で開催されている高齢者サロンや老人会での健康教室を実施することで、介護予防の普及啓発実施に役立った。</p> <p>○体験型の運動教室や栄養教室は、参加者の課題改善効果はあるが、参加者が少ないため、広報の充実や参加しやすい手段の確保などが今後の課題である。</p>																

事業名	地域介護予防活動支援事業																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
195千円	1,061千円	866千円	18.3%	1,061千円															
目的	介護予防に関わるボランティア等の人材や地域活動組織の育成・支援等を実施し、地域における介護予防活動を促進する。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○介護予防に関するボランティア等の人材及び地域活動組織の育成</p> <p>介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような社会構築を目指して、ボランティアの育成とともに65歳以上のサロン対象者に対して、健康教育、健康相談等を実施し、介護予防に関する活動の育成・支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施事業</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア育成のための研修会等</td> <td>4回</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td>介護予防に資する地区活動組織の育成及び支援</td> <td>24回</td> <td>170人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 講師謝金 24千円 運動講師謝金 24千円 消耗品費ほか 4千円 送迎車運転委託料 33千円 <p>○高齢者自身がボランティア活動を行うことで自身の介護予防に繋げる事業</p> <p>高齢者が行う介護支援ボランティア活動を通して地域貢献をすることで、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防に繋げる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施事業</th> <th>サポーター受入機関登録施設数</th> <th>サポーター登録(活動)人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援見守りサポーター活動事業</td> <td>34施設</td> <td>29人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 介護支援ボランティア事業委託料 110千円 (受託者：京丹後市社会福祉協議会) 				実施事業	実施回数	参加人数	ボランティア育成のための研修会等	4回	114人	介護予防に資する地区活動組織の育成及び支援	24回	170人	実施事業	サポーター受入機関登録施設数	サポーター登録(活動)人数	介護支援見守りサポーター活動事業	34施設	29人
	実施事業	実施回数	参加人数																
ボランティア育成のための研修会等	4回	114人																	
介護予防に資する地区活動組織の育成及び支援	24回	170人																	
実施事業	サポーター受入機関登録施設数	サポーター登録(活動)人数																	
介護支援見守りサポーター活動事業	34施設	29人																	
主な財源	<table> <tr> <td>国負</td> <td>地域支援事業交付金(介護予防事業)</td> <td>60千円</td> </tr> <tr> <td>府負</td> <td>地域支援事業交付金(介護予防事業)</td> <td>30千円</td> </tr> <tr> <td>支払基金交付金</td> <td>支払基金交付金(介護予防事業)</td> <td>89千円</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>一般会計繰入金(介護予防事業)</td> <td>16千円</td> </tr> </table>			国負	地域支援事業交付金(介護予防事業)	60千円	府負	地域支援事業交付金(介護予防事業)	30千円	支払基金交付金	支払基金交付金(介護予防事業)	89千円	繰入金	一般会計繰入金(介護予防事業)	16千円				
国負	地域支援事業交付金(介護予防事業)	60千円																	
府負	地域支援事業交付金(介護予防事業)	30千円																	
支払基金交付金	支払基金交付金(介護予防事業)	89千円																	
繰入金	一般会計繰入金(介護予防事業)	16千円																	
評価・課題等	<p>○ボランティア育成のための研修会等を実施することで、社会福祉協議会のもとで、高齢者サロンの立ち上げから軌道に乗せるまでの流れができるようになった。</p> <p>○介護予防に資する地区活動組織の育成及び支援を行うことで、地域活動組織による高齢者サロンの主体的な実施につなげることができた。</p> <p>○高齢者がボランティア活動を行うことで、自身の介護予防につながった。</p>																		

事業名	地域包括支援センター事業			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
93,218千円	96,797千円	3,579千円	96.3%	95,946千円

目的	地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行うセンターの運営を通じ、地域福祉の増進を包括的に支援する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内の町域ごとに設置されている地域包括支援センター及び分室を核とし、初期総合相談窓口として委託方式で設置されている民間の在宅介護支援センター5か所等各種関係機関との連携を強化することで、高齢者の総合相談や実態把握を行うとともに、予防事業へのケアマネジメントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合相談支援・権利擁護業務 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">年間相談件数</th> <th style="width: 20%;">地域包括支援センター</th> <th style="width: 20%;">在宅介護支援センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険その他の保健福祉サービスに関すること</td> <td>2,751件</td> <td>289件</td> </tr> <tr> <td>権利擁護（成年後見制度等）に関すること</td> <td>35件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>高齢者虐待に関すること</td> <td>50件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>2,836件</td> <td>289件</td> </tr> <tr> <td>実態把握</td> <td>224件</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> ○ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 在宅ケアスタッフ会議、ケアマネジャー会議等を通じ、医療、介護及び福祉の連携を図った。 ○ 介護予防ケアマネジメント業務 二次予防事業対象者の予防プランの作成を行った（4件） <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員人件費（12人） 88,897 千円 ○ 地域包括支援センター業務委託料 3,000 千円 ○ 地域包括支援センターシステム保守委託料 367 千円 ○ その他経費（旅費、消耗品等事務経費、公用車維持管理経費 ほか） 954 千円 		年間相談件数	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	2,751件	289件	権利擁護（成年後見制度等）に関すること	35件	0件	高齢者虐待に関すること	50件	0件	計	2,836件	289件	実態把握	224件	-
	年間相談件数	地域包括支援センター	在宅介護支援センター																	
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	2,751件	289件																		
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	35件	0件																		
高齢者虐待に関すること	50件	0件																		
計	2,836件	289件																		
実態把握	224件	-																		
主な財源	国補 地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業） 24,122千円 府補 地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業） 12,061千円 繰入金 一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業） 33,705千円																			

評価・課題等	<p>○各地域で開催されている民生児童委員会議に参加して、民生児童委員との情報・意見交換を行うことにより、地域の現状や課題について把握・検討するとともに、民生児童委員からの相談、同行訪問等が増えるなど、総合相談支援・権利擁護業務等の総合相談窓口としての機能充実が図れた。</p> <p>○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務では、ネットワーク会議を通じ市内事業所とのきめ細かい連携をとったことにより、要介護者等の在宅生活の支援を図ることができた。</p>
--------	--

事業名	網野通所介護事業（網野通所介護事業所一般経費を含む）				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
42,194千円	47,928千円	5,734千円	88.0%	54,439千円	

目的 介護保険で要支援または要介護に認定された高齢者に対し、必要な介助や機能訓練等を行うことで、利用者の心身機能の維持及び向上や社会的孤立感の解消、家族の介護負担の軽減を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

介護保険法に規定されている通所介護事業及び介護予防通所介護事業を京丹後市社会福祉協議会に委託して実施した。

○ 網野デイサービス事業委託料 35,629千円

【運営概要】

通所定員	30人
委託先	社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会

利用者は、網野デイサービスセンターに通所し、サービス（必要な介助や機能訓練等）を利用する。

【事業の成果】
（月別延べ利用者数、単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護者	357	369	355	370	343	328	367	350	286	319	307	362	4,113
要支援者（予防）	102	105	97	100	114	98	109	104	96	95	96	98	1,214
合計	459	474	452	470	457	426	476	454	382	414	403	460	5,327

- 平成24年度開設日 256日
- 平成24年度利用者数 延べ5,327人（前年比6.5%減）
- 1日当たりの平均利用者数 約21人

○ 一般管理経費 6,565千円
事務用品、公用車燃料代、光熱水費（電気・水道・下水道）、備品修繕費、公用車維持管理費、電話代、通所介護事業システム保守料、設備保守点検料など

主な財源	サービス収入 介護保険給付費収入	34,768千円
	サービス収入 自己負担金収入	7,101千円
	諸収入 その他収入	325千円

評価・課題等

○サービスを通じて、高齢者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることができた。
○介護保険の基盤施設であり、効率的かつ安定的な運営が確保できた。

事業名	弥栄通所介護事業（弥栄通所介護事業所一般経費を含む）													
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額										
54,507千円	54,958千円	451千円	99.1%	54,390千円										
目的	介護保険で要支援または要介護に認定された高齢者に対し、必要な介助や機能訓練等を行うことで、利用者の心身機能の維持及び向上や社会的孤立感の解消、家族の介護負担の軽減を図る。													
主要な事務・事業及び成果の概要	介護保険法に規定されている通所介護事業及び介護予防通所介護事業を社会福祉法人あしぎぬ福祉会に委託して実施した。													
	○ 弥栄デイサービス事業委託料			51,419千円										
	【運営概要】													
	通所定員	25人												
	委託先	社会福法人あしぎぬ福祉会												
	利用者は、弥栄デイサービスセンターふれあいに通所し、サービス（必要な介助や機能訓練等）を利用する。													
	【事業の成果】（月別延べ利用者数、単位：人）													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	要介護者	390	399	361	375	357	347	340	315	298	263	272	326	4,043
	要支援者（予防）	10	9	9	7	9	11	11	14	14	10	11	10	125
特定施設入居者	44	49	52	58	50	37	49	57	40	33	51	59	579	
合計	444	457	422	440	416	395	400	386	352	306	334	395	4,747	
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度開設日 308日 平成24年度利用者数 延べ4,747人（前年比19%減） 1日当たりの平均利用者数 約15人 														
○ 理学療法士派遣委託料			29千円											
派遣回数12回（弥栄病院から派遣）														
○ 一般管理経費			3,059千円											
光熱水費（ガス・電気・水道・下水道）、電話代、施設等修繕料、通所介護事業システム保守料など														
主な財源	サービス収入 介護保険給付費収入			40,381千円										
	サービス収入 自己負担金収入			7,366千円										
	サービス収入 特定施設入居者委託料収入			5,179千円										
	諸収入 その他収入			282千円										
評価・課題等	○サービスを通じて、高齢者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることができた。													
	○介護保険の基盤施設であり、効率的かつ安定的な運営が確保できた。													

事業名	老人保健施設介護サービス事業（老人保健施設一般経費等を含む）			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
516,786千円	523,868千円	7,082千円	98.6%	570,212千円

目的	介護を必要とする高齢者に、リハビリを中心とした医療サービスと日常生活の介護サービスを提供することによって、家庭復帰の促進を図るとともに、在宅支援を行う。																																						
主要な事務・事業及び成果の概要	やさか老人保健施設「ふくじゅ」において、入所者に対して看護や医療的管理下での介護・機能訓練等の医療と日常生活の世話をを行うとともに、通所リハビリテーションによる機能訓練・居宅介護支援事業を行った。																																						
	○ 京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ業務委託料 447,643千円																																						
	委託先：社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会（事業開始：平成11年10月1日）																																						
	【事業の成果】 (1) 介護給付（要介護1～5の方を対象とする居宅サービス） <ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーション（理学及び作業療法士によるリハビリテーション） ・短期入所療養介護（短期入所での医療上のケア、入浴・食事等の介護、機能訓練等） ・施設介護サービス（医療的管理下での介護、機能訓練等医療や日常生活上の介護） (2) 介護予防給付（要支援1及び2の方を対象とする居宅サービス） <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防通所リハビリテーション ・居宅介護支援事業 																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">サービス日数</th> <th rowspan="2">年間延べ利用者数</th> <th>4月～9月</th> <th>10月～3月</th> </tr> <tr> <th>平均利用者数</th> <th>平均利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">介護給付</td> <td>通所リハビリテーション</td> <td>256日</td> <td>6,494人</td> <td>23.7人/日</td> <td>27.2人/日</td> </tr> <tr> <td>短期入所療養介護</td> <td>365日</td> <td>2,264人</td> <td>6.3人/日</td> <td>6.2人/日</td> </tr> <tr> <td>介護保険施設サービス</td> <td>365日</td> <td>29,971人</td> <td>74.5人/日</td> <td>89.8人/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護予防給付</td> <td>介護予防通所リハビリテーション</td> <td>256日</td> <td>981人</td> <td>4.1人/日</td> <td>3.6人/日</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業</td> <td>256日</td> <td>680人</td> <td>56.8人/月</td> <td>56.5人/月</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	サービス日数	年間延べ利用者数	4月～9月	10月～3月	平均利用者数	平均利用者数	介護給付	通所リハビリテーション	256日	6,494人	23.7人/日	27.2人/日	短期入所療養介護	365日	2,264人	6.3人/日	6.2人/日	介護保険施設サービス	365日	29,971人	74.5人/日	89.8人/日	介護予防給付	介護予防通所リハビリテーション	256日	981人	4.1人/日	3.6人/日	居宅介護支援事業	256日	680人	56.8人/月	56.5人/月
区 分	サービス日数	年間延べ利用者数	4月～9月	10月～3月																																			
			平均利用者数	平均利用者数																																			
介護給付	通所リハビリテーション	256日	6,494人	23.7人/日	27.2人/日																																		
	短期入所療養介護	365日	2,264人	6.3人/日	6.2人/日																																		
	介護保険施設サービス	365日	29,971人	74.5人/日	89.8人/日																																		
介護予防給付	介護予防通所リハビリテーション	256日	981人	4.1人/日	3.6人/日																																		
	居宅介護支援事業	256日	680人	56.8人/月	56.5人/月																																		
	○ 一般管理経費（公用車維持管理、備品購入費、その他事務経費） 4,269千円 ○ 施設整備市債償還元金 46,639千円 ○ 施設整備市債償還利子 18,235千円																																						
主な財源	サービス収入 介護保険給付費収入				347,620千円																																		
	サービス収入 自己負担金収入				57,796千円																																		
	サービス収入 日常生活費・居住費等				61,372千円																																		
	サービス収入 その他収入				3,056千円																																		
評価・課題等	○入所者に対し、看護や医療的管理のもとで、介護・機能訓練等のサービスやケアを行うことで、入所者の在宅復帰を促進することができた。 ○通所リハビリテーションによる機能訓練・居宅介護支援により、住み慣れた地域の中における高齢者の自立した生活の継続に寄与することができた。 ○施設長の突然の死亡による医師不在期間があったため、新規入所が出来ず、サービス収入が減った。																																						

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業
細事業名	01 老人福祉施設建設資金借入金償還補助金			決算書 P.140
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
46,860千円		46,861千円	1千円	99.9 % 45,380千円
目的	社会福祉法人の施設整備に係る借入金の返済の一部を助成し、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>介護が必要になった高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉の拠点となる施設整備を行った法人に対し、施設整備に係る債務の償還金額の一部について助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建設資金借入金償還補助 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームはごろも苑 10,000千円 (H25年度まで) 特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑 4,751千円 (H40年度まで) おおみや苑複合施設 11,640千円 (H30年度まで) 特別養護老人ホームおおみや苑 5,000千円 (H30年度まで) 丹後園デイサービスセンター 1,500千円 (H27年度まで) 第二丹後園 161千円 (H25年度まで) 第二丹後園 4,615千円 (H36年度まで) 特別養護老人ホーム満寿園 5,240千円 (H42年度まで) 久美浜デイサービスセンター 677千円 (H28年度まで) 特別養護老人ホーム海山園 1,500千円 (H33年度まで) 特別養護老人ホームふるさと (H24新規) 1,480千円 (H49年度まで) ○ 改築資金借入金償還補助 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム満寿園 296千円 (H40年度まで) 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○不足する介護・福祉サービス基盤の早期解消に向けた取り組みを行う社会福祉法人に対し、助成を行うことによって、介護・福祉サービス基盤の整備を推進することができた。</p> <p>○介護サービス事業所の施設が整ってきた状況にあるため、既存施設の償還補助は継続しつつ、新規施設への償還補助については制度廃止も含め、検討する必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業	
細事業名	03 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金（繰越）			決算書	P.140
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
40,000千円		40,000千円	0千円	100.0%	40,000千円
目的	地域の特性に応じた介護・福祉サービス基盤の整備を推進することにより、高齢者等が身近な生活圏域の中で、さまざまな介護・福祉サービスを利用できる環境を整える。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域における適切な介護サービスの提供等、安心・安全の確保を目的とした介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用して助成を行った。</p> <p>○対象事業</p> <p>(1) 介護基盤緊急整備特別対策事業（施設整備）</p> <p>①施設の種別 認知症高齢者グループホーム（定員18人）</p> <p>②施設の名称 グループホーム善王寺（大宮町善王寺527番地）</p> <p>③設置主体 特定非営利活動法人 ふくし京丹後</p> <p>④補助金交付額 30,000千円</p> <p>(2) 介護基盤緊急整備特別対策事業（施設整備（増築））</p> <p>①施設の種別 認知症対応型通所介護（定員12人 → 24人）</p> <p>②施設の名称 はなまるデイサービス（弥栄町堤743番地7）</p> <p>③設置主体 特定非営利活動法人 やさか福祉村</p> <p>④補助金交付額 10,000千円</p>				
主な財源	府補	介護基盤緊急整備特別対策事業費交付金（10/10）			40,000千円
評価・課題等	<p>○本事業の活用により、事業者が円滑に開設準備を進めることができた。</p> <p>○府からの全額補助の制度であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業
細事業名	03 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金			決算書 P.140
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
13,912千円		13,912千円	0千円	10,800千円
目的	地域の特性に応じた介護・福祉サービス基盤の整備を推進することにより、高齢者等が身近な生活圏域の中で、さまざまな介護・福祉サービスを利用できる環境を整える。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域における適切な介護サービスの提供等、安心・安全の確保を目的とした介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用して助成を行った。</p> <p>○対象事業</p> <p>(1) 施設開設準備経費助成特別対策事業</p> <p>①施設の種別 認知症高齢者グループホーム(定員18人)</p> <p>②施設の名称 グループホーム善王寺(大宮町善王寺527番地)</p> <p>③設置主体 特定非営利活動法人 ふくし京丹後</p> <p>④補助金交付額 10,800千円 ※交付基準額 定員1人につき600千円</p> <p>(2) 自動火災報知設備等整備特別対策事業</p> <p>①施設の種別 小規模多機能型居宅介護事業所(定員 通所15人 宿泊3人)</p> <p>②施設の名称 あげぼの荘(大宮町上常吉1226番地)</p> <p>③設置主体 社会福祉法人 不動園</p> <p>④補助金交付額 212千円</p> <p>(3) 既存施設スプリンクラー整備特別対策事業</p> <p>①施設の種別 小規模多機能型居宅介護事業所</p> <p>②施設の名称 はごろも苑ないきの家(峰山町内記416番地)</p> <p>はごろも苑さかいの家(峰山町堺44番地)</p> <p>③設置主体 社会福祉法人 みねやま福祉会</p> <p>④補助金交付額 2,900千円 (内訳) はごろも苑ないきの家 1,659千円</p> <p>はごろも苑さかいの家 1,241千円</p>			
主な財源	府補	介護基盤緊急整備特別対策事業費交付金(10/10)		13,912千円
評価・課題等	<p>○本事業の活用により、事業者が円滑に開設準備を進めることができた。</p> <p>○スプリンクラー設備整備費用の一部及び消防機関通報火災報知設備整備費用を補助することにより、防火安全対策が強化された。</p> <p>○府からの全額補助の制度であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業	
細事業名	01 健康長寿のまちづくり推進事業			決算書	P.168
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,955千円		2,118千円	163千円	92.3%	1,222千円
目的	「喜ぼう！感謝しよう！長寿社会」を高く掲げ、老いや長寿の中にこそある喜びや宝をもっと発見し、長寿をますます喜び、感謝することができる機運・環境づくりを推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>第5回健康大長寿のさとづくりシンポジウム</p> <p>開催日：平成24年11月17日（土）午後1時～午後4時</p> <p>会場：京都府丹後文化会館大ホール</p> <p>来場者数：250人</p> <p>テーマ：健康寿命を伸ばそう！～生涯現役のすすめ～</p> <p>○報償費（基調講演講師、パネリスト、セミナー講師等） 1,069 千円</p> <p>○旅費（講師等旅費） 247 千円</p> <p>○消耗品費（事務用品等） 180 千円</p> <p>○食糧費（講師等昼食代） 6 千円</p> <p>○印刷製本費（シンポジウム冊子、ポスター、リーフレット） 198 千円</p> <p>○役務費（新聞折込手数料 市内のみ1回） 64 千円</p> <p>○委託料（情報通信機器等設置委託料） 32 千円</p> <p>○会場借上料（京都府丹後文化会館 準備、本番の2日間） 159 千円</p> <p>【関連行事】</p> <p>○百歳バンザイ!!推進市町村連絡協議会総会・研修会 11月17日（土）午前10時～午前11時30分 峰山地域公民館講義室 参加者数：11市町 20人</p> <p>○「口紅の力」セミナー 11月17日（土）午前10時～午前11時30分 峰山地域公民館大会議室 参加者数：30人</p>				
主な財源	府補	地域包括ケア総合交付金			1,208千円
評価・課題等	<p>○健康長寿のまちづくりの推進の一環である生涯現役を実現するため、社会参加、健康維持・増進について専門家による提言や先進的な自治体の取り組み事例を通じてその意義など理解を深める場とすることができた。</p> <p>○これまでのシンポジウムを通して明らかになりつつある社会的・環境的な長寿要因と関連させながら、100歳を超える高齢者が多い本市の特長を医学的・科学的な視点からのアプローチから解析していく必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業	
細事業名	02 生涯現役社会推進検討経費			決算書	P.168
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
104千円		108千円	4千円	96.2 %	0千円
目的	生涯現役条例を先進自治体を視察し、条例化検討を進める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○特別旅費 104 千円 京丹後市～茨城県高萩市 ○視察先 茨城県高萩市役所 平成24年8月2日～3日 ○派遣職員 健康長寿福祉部長寿福祉課 2人 				
主な財源					
評価・課題等	<p>全国で初めて生涯現役条例を制定した茨城県高萩市に視察を行い、条例制定の経過、市民参加の状況、国や他の市町村との連携、条例制定の効果及び総合計画との整合性等についての調査を行った結果を踏まえ、本市の条例を検討していく必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	04在宅健康管理システム事業		
細事業名	01 在宅健康管理システム事業				決算書	P.168
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,265千円		3,335千円	70千円	97.9%	3,335千円	
目的	市民が自動血圧計と携帯専用端末機を使い、在宅での血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めていくことにより、生活習慣病や早世、寝たきりなどの予防を推進していく。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民が在宅で、自動血圧計と携帯電話網に接続した携帯専用端末機を使い、健康情報（血圧、脈拍、体調、歩数、体重）を市のサーバに送り、保健師等がモニターをして必要に応じた健康指導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康指導臨時保健師賃金（保健師1人） 480千円 ○消耗品費（指導用リーフレットほか） 121千円 ○通信運搬費（結果レポート郵送通知） 59千円 ○委託料（情報通信技術業務委託料） 2,520千円 ○使用料（ソフトウェア使用料） 85千円 <p>○利用状況（平成24年4月～平成25年3月累計）</p> <p>利用者数 延べ 237人 （最大稼働月6月：145台、最小稼働月10月：93台）</p> <p>年間平均稼働率 62.4% 1人当たりの血圧データ送信回数/月 33.6回</p> <p>○指導状況</p> <p>電話での保健指導（対応） 延べ 201件 メール指導 延べ 2,556件 訪問・来所 延べ 193件</p> <p>※保健師10人、臨時保健師1人が担当を受け持ち対応</p>					
	主な財源	府補 未来づくり交付金（在宅健康管理システム事業）				1,000千円
評価・課題等	<p>○利用者の多くに血圧改善がみられた。また、本事業の利用をきっかけに、生活改善に取り組んだ方も多く、健康管理意識の向上につながった。</p> <p>○医療機関への受診につながった利用者も多く、脳卒中などの合併症の発生予防につながり、医療費の削減が期待できる。利用期間を最長1年としていることから、より多くの市民に順次利用していただき、高い稼働率を維持できるよう、周知、勧奨等を継続していく必要がある。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	50高齢者福祉一般経費
細事業名	01 高齢者福祉一般経費			決算書 P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
561千円		601千円	40千円	93.3 % 601千円
目的	高齢者福祉施設の維持管理及び事務事業を円滑に実施する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費（事務担当者会議等 京都市） 43 千円 ○消耗品費（事務用品等） 46 千円 ○光熱水費（網野コミュニティ広場水道料） 11 千円 ○賃借料（グループホーム「かえで」用地賃借料5人 2,047㎡） 461 千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○適正な執行を行うことにより、高齢者福祉に関する事務事業について、円滑な実施を行うことができた。</p> <p>○グループホーム「かえで」の借地については、旧弥栄町が誘致した当該施設の建設用地であり、本市の高齢者福祉に大きく貢献している。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			